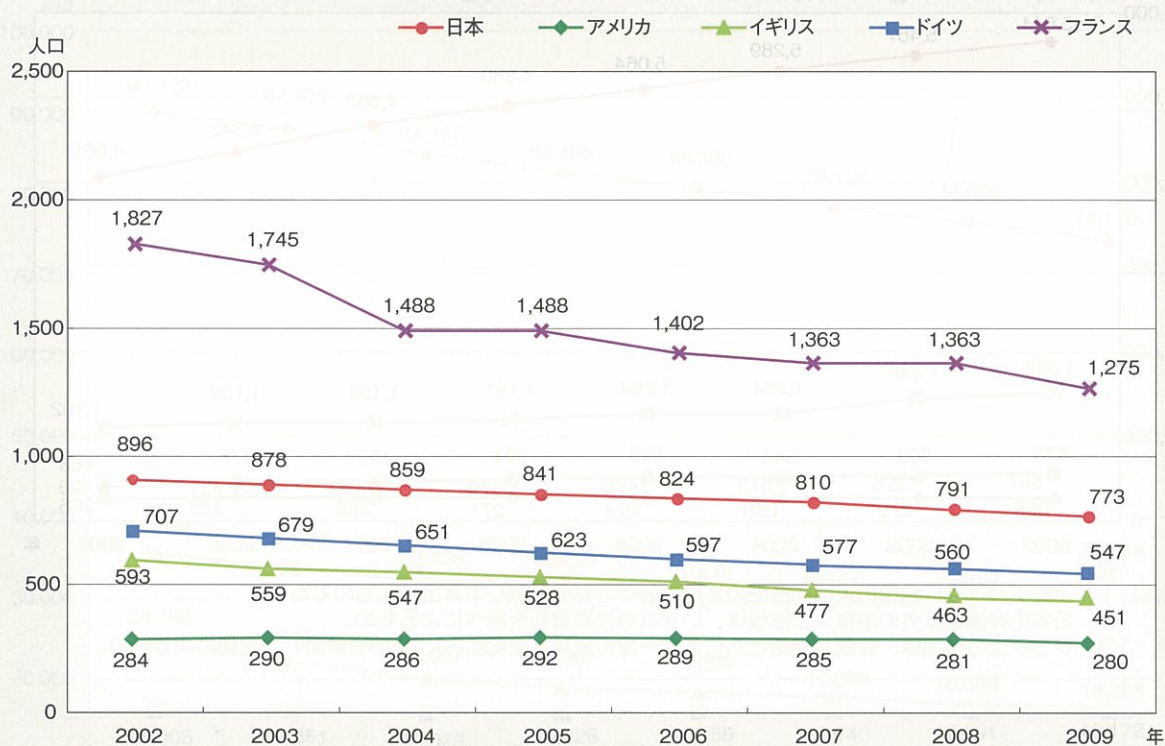


参考 弁護士1人あたりの国民数 —隣接士業人口を含む— (各国比較)

下記のグラフは、日本の弁護士数に隣接士業（弁理士、税理士、司法書士、行政書士）の人口を含めた形で、改めて「弁護士1人あたりの国民数」を各国比較したものである。各国で「弁護士」の概念が異なることから、参考として掲載した。



- 【注】
- 日本の弁護士以外の法曹人口数値は、いずれも最高裁判所調べによるもの。
 - 日本…弁護士数は、隣接士業人口を含めた数値でp.87「隣接士業の人口の推移」の合計値（【注】参照）を用いた。但し公認会計士、社会保険労務士、土地家屋調査士は、諸外国でも弁護士とは別の職種となっているので、ここでは除いた。
人口は、総務省統計局調査による前年の10月1日現在のもの（後記p.71の表参照）。
 - アメリカ…弁護士数はABA調査（後記p.71の表参照）による、各州で現に活動している者の総数から裁判官及び検察官の数を控除したもの。
人口は、米統計局（U.S.Census Bureau）調査（後記p.71の表参照）によるもの。
 - イギリス…イングランド及びウェールズにおける数。
弁護士数は（後記p.71の表参照）、独立開業している法廷弁護士（バリスター）及び開業証書を保有する事務弁護士（ソリシター）の合計数から非常勤裁判官、検察官の職にあるソリシター及び法務総裁の数を控除したもの。
人口は、英国政府統計局（Office for National Statistice）調査（後記p.71の表参照）によるもの。
 - ドイツ…弁護士数は、連邦弁護士会調査（後記p.71の表参照）によるもの。
人口は、連邦統計局（後記p.71の表参照）によるもの。
 - フランス…弁護士数は司法省調査（後記p.72の表参照）による、従前の法律顧問を含む弁護士、控訴院代訴士及びコンセイユデタ・破産院弁護士の数を合計したもの。
人口は、仏国立統計経済研究所（INSEE）調査（後記p.72の表参照）によるもの。